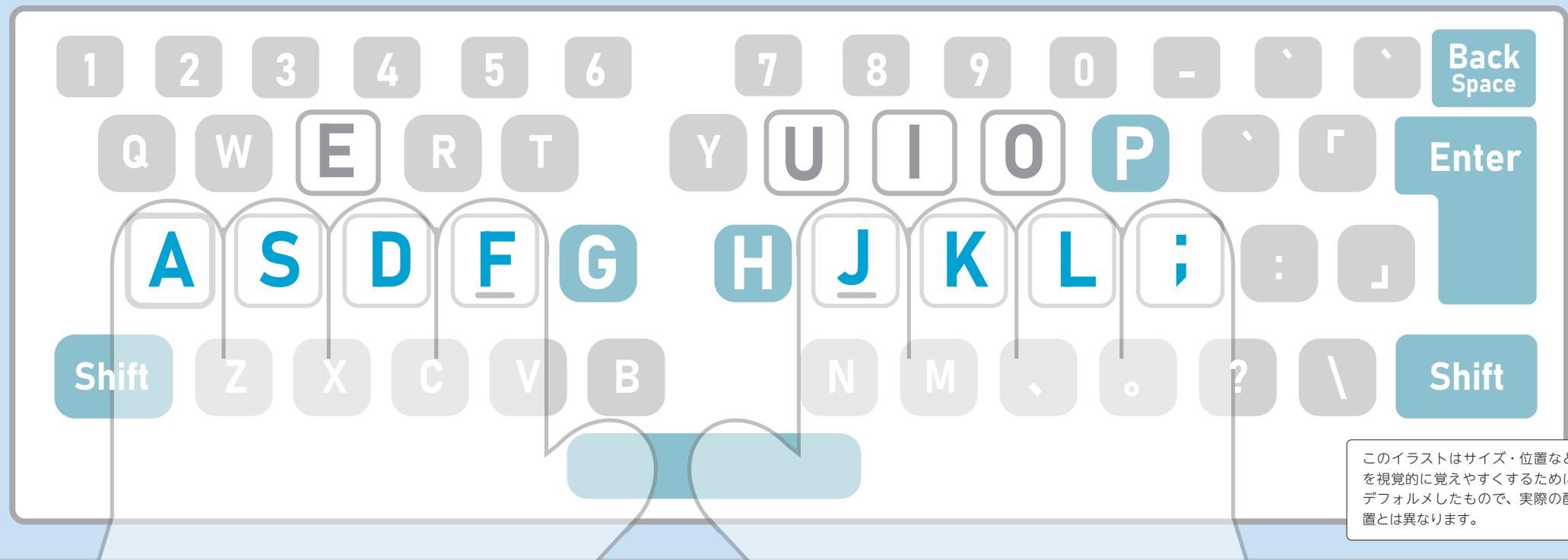


見ないで打てる、差をつける！

タッチタイピングを身につけよう

メリット

- ・確認しながら打つので タイプミスに気づきやすい
- ・目線を動かさないので 画面上の作業に集中できる
- ・体の負担が少なく疲れにくい

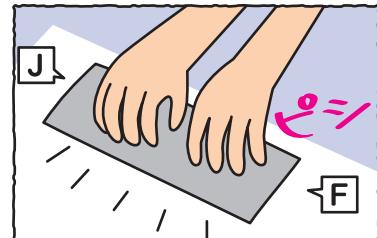


1 手元は絶対に見ず
記憶と触覚で探す



FとJの凸を手掛かりに探し
ましょう。手元さえ見なければ、
このプリントは見てもOK。

2 ホームポジションに
戻ることを意識



入力を終える度にスタート地
点に戻ることで、次のキーの場所
を見つけやすくなります。

3 かなのように
「書き順」でおぼえる



ひらがなの書きとり練習を繰
り返すように指の運び方を体
に覚えさせましょう。

急がばタッチタイピング！？

「見ながら打ったほうが早い？」
それは最初だけです。タッチタ
イピングの習得は難しいですが
練習を続けていけば後から入力
速度・入力の正確さで大きく差
ができます。必須技術であるの
にかかわらず、全くキーを見な
いでタイピングができる人は社
会人でもわずか。思うようにい

かないときもありますが、将
来のための先行投資と考え、コツ
コツ練習を続けてみましょう。

半角モード
になって
ますよ…

